

平成28年度 島田市立相賀小学校グランドデザイン

＜静岡県教育振興基本計画（第2期計画）
（『有徳の人』づくりアクションプラン）

- 1 生涯にわたる学びを支える環境づくり推進
- 2 学びの場の充実と円滑な接続の推進
- 3 社会総がかりで子ども達を育む環境づくり推進、他

＜島田市の目指す学校教育＞

- 1 豊かな心の育成
- 2 確かな学力を育む授業の充実
- 3 基礎学力の定着
- 4 特別支援教育の充実

誠 校訓
實 訓

＜明治40年制定＞

学校教育目標 知恵をしばり、声を出し、汗を流す

＜重点目標＞

こころつよく こころやさしくのびる子

相賀小は、「授業をとおして学びの実感を高め合う子ども」・「地域から愛され、信頼される学校」をめざします。

【学校経営目標】 『生きる力を育む教育活動（授業）』

- 1 日々の授業（学びの実感のある授業）を大切にし、確かな学力を育てる。
- 2 自己目標に粘り強く挑戦し、自分に自信を持ち、人の役に立つ子どもを育てる。
- 3 相賀小ならではの特色ある教育活動をとおして、豊かな心、思いやりの心を育てる。

（6、12月に学校評価アンケートを取り検証）

学びづくり

子どもとつくる日々の授業を大切にし、確かな学力を育てる

【学びの実感をもてる子～書くこと、聴くこと、話すこととおして～】

- ・個に焦点をあてた授業と、学び合いの良さが生きる授業の追求
- ・温かな聴き方、やさしい話し方による学ぶ意欲の向上と書く力の育成
- ・魅力ある教材との出会いと、問題解決的な学習の充実

授業が楽しい 100%
授業が分かる 95%

小規模校の良さを生かした教育活動

心づくり

自己目標に粘り強く挑戦し、芯の強い子を育てる

- ・各行事で、「目標設定→実行→振り返り」のサイクルを生かし、粘り強く挑戦する。
- ・生活三大自慢「あいさつ・返事、くつそろえ」の日常化。
- ・相賀小ならではのJRC活動に取り組み、互いの感動を育てる。
- ・自分の良さや得意とする活動を大切にし、自己肯定感を育む。

自分の良いところと言える 95%
粘り強く挑戦できる 95%

相賀小ならではの教育活動

伝統的な活動をとおして、豊かな心、思いやりの心を育てる。

- ・31年目の「和太鼓活動」を継承し、自信と誇りを育てる。
- ・35年目の「みどりの少年団活動」をとおして、命の尊さや自然の恵みに感謝する心を育てる。
- ・「あすなる班活動」をとおして、自分や仲間の良さに気づき、主体性や感謝の心を育てる。

太鼓活動やみどりの少年団活動に励むことができる 95%

第1ステージ＜4, 5月＞ 種まきのステージ	第2ステージ＜6,7,8月＞ 伸びるステージ	第3ステージ＜9, 10月＞ 実りのステージ	第4ステージ＜11,12月＞ 収穫のステージ	第5ステージ＜1,2,3月＞ 土づくりのステージ
お互いの理解を深め、みんなで学級づくりの方法を考える。	学び合う風土を基盤に、一人一人が自分を鍛える。	自分の学びを生かし、高め合う学級(知的磨き合い)をめざす。	自分たちの学びの成長を実感し、「生きる力」を表現する。	感謝の気持ちを持ち、もう一つの自分を目指し始める。

各ステージでの成果と課題をチェックし、次のステージへの取り組みに生かす。
(PDCAサイクルの機能化)

安心・安全な学校

大規模自然災害への対応・訓練(想定外の想定、自分の命は自分で守る)

小中連携

9年間で育てる子ども像の共有(自尊感情と確かな学び)

【経営の基盤】

【チーム相賀小】

- 危機管理体制の充実、教育環境整備
- 一人ひとりの良さを認め、励ましていく職員集団
- 生徒指導が機能する指導・支援の工夫
- いじめのない学校づくりと、人権教育・福祉教育の充実
- 学校だより、学年だより、HPIによる学校教育活動の情報発信の充実

【学校・家庭・地域との連携・協力】

- 地域の子は地域で育てる温かな相賀の風土
- 学校を支えて下さる相賀町内会やコミュニティー会など
- 地域の応援団(学校見守り隊、田んぼボランティア、読書ボランティア等)
- 保護者との連携(家庭教育の充実・家庭学習・基本的生活習慣の確立)